

東日本大震災偶感

(高砂市・臨済宗龍澤寺住職の水田全一師の通信「山家妄想」の号外(3月15日付)より)

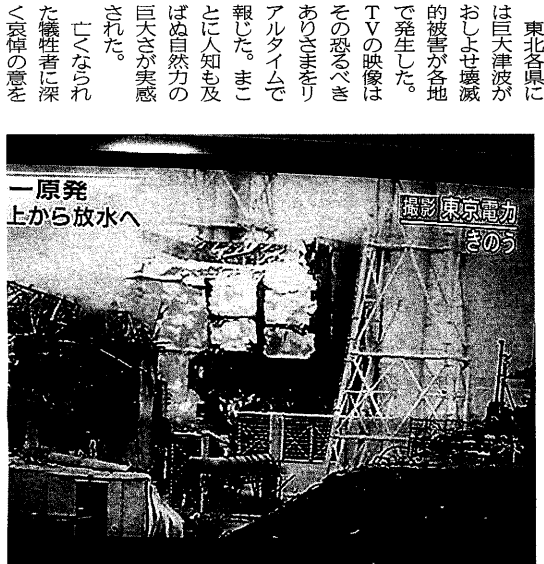


水田全一

捧げるとともに、被災された方々に心からのお見舞いを申し上げます。問題発言

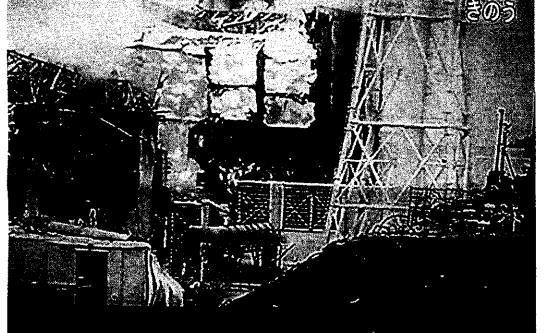
わが生活を引締め余力の提供を

三月十一日、日本海溝四百里を震源とする巨大地震が発生した。「東日本大震災」(なぞ)がNHKのみはかたくなに「東北・関東震災」と呼んでいるのである。マグニチュードは再度の訂正の結果九・〇と推定され、インドネシア沖地震に次ぐ世界最大級の大地震となった。



福島原発建屋の崩壊映像、今も放射線の危険にさらされる

一原発上から放水へ



フォーラムスやスタンダードを許さぬ事態の進展である。ただ一人、「勇退」を撤回して次期選挙に出馬を決めた都知事は許しがたい問題発言をした。「我欲で縛られた政治もボビリズムでもってそれを一気に押し流す。津波をうまく利用して、我欲をやっばり一回洗い落とす必要がある。積年にたまった日本人の心をおかね、やっばり天罰だと思え。被災者の方々はかわいそうです」というのである(神戸新聞3・15)。

自治体合併の検証が必要

被害の実態を見ると、市や町の全域が壊滅している。県など地方自治体の対応をもっとも不可能な規模に達しているといえる。一刻も早く政府を先頭にして国民の総力を挙げての救援を

国民の連帯で被災者・被災地の救援を

「想定以上の」と言葉がつけられて責任を逃れようとする意図が明らかに取れるが、この事態に至る危険は識者によって指摘されていたものである。「想定」を最大限に引き上げての対策、経済性や採算などという企業の打算を排除しての立案がなされていなかった」といっている結果となった。全国に五〇を超えて設置されている原子力発電の総点検、安全策の再検討は一刻の猶予を許さないこと知るべきである。かすかすの不安の声を無視して強行した責任を、推進に加担した政治家や経済人、御用学者は自覚すべきである。

兵庫県内の避難者受け入れ状況(判明分)

自治体	世帯数	人数
兵庫県	13	45
神戸市	29	88
尼崎市	5	8
西宮市	8	22
宝塚市	1	3
川西市	1	2
三田市	4	12
明石市	1	2
加古川市	2	6
高砂市	2	5
福美町	1	4
朝来町	1	4
香美町	1	4
丹波市	1	7
	70	212

(神戸新聞3月23日付による)

宗教人として自省するところ

世界各報からの報道は、被災地における人々の行動に驚きの声を伝えている。不自由な我慢と混乱なく避難されているありさまは、他国の略奪横行などの姿などと比較して感嘆されている。ただ、この状況を識者の一人が「天災の多い島に生まれて、宗教の支えなしで世の理不尽を耐え忍んできたのが日本人だからと分析していた(神戸新聞3・15)とをわきまに、

憲法改悪ストップ 兵庫県共同センター

「……世界の観測史上最大級と言われる東日本大震災の特徴は阪神淡路大震災の1000倍の規模であり、津波を伴い、さらに原発事故の発生がのしかかり、万を超えて死者の予想と壊滅した地域の現状は困難と